



# 週報

# WEEKLY REPORT 2024-2025



事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルピア伊賀内  
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656

例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘  
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

2044No.15

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: [u-eastrc@ict.ne.jp](mailto:u-eastrc@ict.ne.jp)

前回の例会

第2045回 2024年11月14日 (木)

- 開会点鐘 12:30
- ロータリーソング『我らの生業』・歌唱指導『もしもピアノが弾けたなら』
- 食事の時間 ゲストのご紹介
- 出席報告
- 会長の時間
- 幹事報告
- ニコニコボックスの報告
- 委員会報告・同好会報告
- ロータリーの友読みどころ
- 本日の行事 DEI推進セミナー報告 樋口会員  
会員増強セミナー報告 伊藤会員
- 閉会点鐘 13:30



前回の例会

第2044回 2024年11月7日 (木)

- 開会点鐘 12:30
- 国歌斉唱『君が代』・ロータリーソング『奉仕の理想』
- 食事の時間
- 出席報告
- 会長の時間・幹事報告
- 委員会報告
- ニコニコボックスの報告
- 本日の行事 ロータリー財団月間に因んで  
三山ロータリー財団委員長、松本財団部門長
- 閉会点鐘 13:30

出席報告 乾出席委員

正会員37名 欠席者9名 (内免除者6名)  
出席率 90.32%

幹事報告 山森幹事  
・理事会開催と承認事項の報告

会長の時間 小林会長

皆さん、こんにちは

つい先日までは、大谷選手のワールドシリーズの話題で持ちきりでしたが  
11月に入り、伊賀市は市長、市議会選挙の選挙活動で町はにぎやかです。  
それと日本に最も影響があるであろうアメリカ合衆国大統領選挙  
トランプ氏に決まりました。

1789年初代アメリカ合衆国大統領、ジョージ ワシントン就任以来  
過去に大統領辞任後、返り咲いたのはグローバー クリーブランド大統領以来132年ぶり2人目だそうです。

私は、トランプ大統領返り咲きは日本にとっては良いのでは?と思っています。

安部さんの例もありますので、前回よりもうまくやってくれているのではと思っています。

忘れてはならないのが11月のRI月間テーマはロータリー財団月間です。

11月2日に財団部門で上野ガスさんのご協力いただき、貴重なスペースをおかしたたき、ポリオ募金を行いました。

詳細は松本部門長から後ほどご報告があると思いますが、想像していたよりたくさんのご寄付をいただきご協力していただいた皆様方に感謝いたしております。

改めて、ありがとうございました。以上です。



ニコニコボックスの報告 瀧山委員長 『寒暖差に気を付けて』

- 小林会長・・・財団卓話。松本さん三山さん宜しくお願いします。
- 山森幹事・・・松本さん、三山さん卓話宜しくお願いします。
- 中井会員・・・三山さん、松本さん卓話楽しみにしています。
- 出後会員・・・三山さん、松本さん本日の卓話宜しくお願いします。
- 神戸会員、三山会員、平井会員、中西会員・・・選挙に行ってくださいね。
- 西口会員・・・早退のお詫び・・・期日前投票お願いします。
- 恒岡会員、南会員・・・ニコニコボックスに協力します。
- 栗本会員・・・早退のお詫び・・・
- 西会員・・・ホーム例会欠席のお詫び



委員会報告

プログラム委員会

出後委員長



はぐるま会秋季大会

前日報告

鈴木実行委員長



ロータリー財団月間に因んで



令和6年11月15日

## 『2024-2025年度 はぐるま会秋季大会 ～ ホストクラブ奮戦記』

今夏は異常な暑さだけでなく、初秋の頃にまで猛暑はずれ込み10月に入っても秋の気配は感じられずにいた。

はぐるま会ゴルフコンペは中勢・伊賀グループの8クラブが春と秋に年2回集い個人戦、団体戦を競う大会である。ホストクラブは4年に1度回ってくる。今年の秋季大会は上野東ロータリークラブがその役を担う。本文ではゴルフ競技ではなく、ホストクラブとして奮闘した会員の皆さんの活躍を中心に振り返ってみよう。

8月の終わり頃、鈴木はぐるま会実行委員長を中心に実行委員会が組織され多岐にわたる役割分担を決め準備を進めた。中勢・伊賀グループ8クラブへの案内送付エントリー者の氏名、年齢、所属クラブ名簿の作成、組み合わせの作成、予算編成、賞品の選定及び調達、ゴルフ場との多岐にわたる打ち合わせ、大会当日の設営、受付、表彰式の役割分担、決算書、お礼状の送付などの事後処理に至るまで、当クラブ会員の方々が多忙の合間を縫ってその役割を進めた。

前日の天候は思わしくなかったが、11月8日の当日は朝からやや冷え込みが厳しかったが好天に恵まれた。実行委員会の願いが届いたようである。エントリー数は津RC(5名) 津南(6名) 津北(7名) 久居(3) 上野(9名) 名張(7名) 名張中央(4) 上野東RC(17名) 総勢58名のご参加をいただいた。

早朝6時半には受付班、設営班が会場であるジャパクラシックカントリー倶楽部に集まり始めた。設営班の前田君が玄関にはぐるま会の看板を設置しプレー終了後に2階のレストランホールにて開催される表彰式会場の設営看板の確認した。玄関前のはぐるま会の看板を見たコンペプランナーの日下氏は「こんな立派なゴルフコンペの看板は見たことないですよ。」と呟かれた。また1階のフロント横には受付が設置された。受付として早々にお集まりいただいたのは、西君、中井君、神戸君、鈴木実行委員長、栗本君、山森君、中西君、北澤君らの面々だ。受付時に来場者に素早く手渡せるように、机上には、参加賞(今回はひまわり作業所の方々の手作り菓子)、当日の組み合わせ表、小林会長や松本君らに手配、調達していただいた豪華な賞品ラインアップ表(これを見ればプレーヤーの方々も賞品ゲットに目の色を変えるだろう)、メーキャップカード、登録料の領収書などが整然と並べられた。それと共に置かれたポリオ募金箱がゴルフコンペにロータリー色を添えた。

スタートまでには、かなり時間があるが、田山君、丸山君、三谷君らも早々と到着した。第1組スタートはAM8:27 フロントの時計に目を向けると、AM7:20 フロントに目を移すと、中勢・伊賀グループ8クラブの面々が続々と顔を見せ始めた。受付は競技に参加しない栗本君にお任せして、皆一様にプレーヤーの顔つきになりパッティング練習場に向かった。

第1組、OUTからは、勝木名張RC会長、小林会長らが、INからは、田山PG、中島地区大会実行委員長らが意気揚々と先陣を切ってスタートした。このゴルフ場は車で5分も走れば滋賀県に入る。伊賀市の最北端で例年は冷え込みも相当なもので紅葉も他の地域よりも早い。今夏は冒頭にも書いたように猛暑の影響で気温の下がり方も緩やかでコース内の紅葉の色鮮やかさもチラホラ程度だ。ただ、そのせいで色づいている樹々が目立つように感じられる。

筆者は、2時半頃にホールアウトし急いでロッカールームで着替え、2階のレストランホールに上がると、設営班の前田君と賞品搬入班の宮岡君とくノ一司会者の瀧山サンがすでに到着していた。会場正面には立派な吊り看板が掲げられ、懇親会の式次第看板が司会者演台横に据えられた。そして、懇親会のメインはやはり賞品だ。

よくあるゴルフコンペの賞品は優勝から第3位、B.B賞、B.M賞、飛び賞ぐらいまでだが、今回は小林会長の意向で出来る限り多くの参加者の方々に賞品が行き渡るように賞品数を増やした。参加者58人のうち33人には必ず賞品が当たるように配慮した。参加者に配った賞品ラインアップもざっとこんな感じだ……… 伊賀牛すき焼き用、焼き肉用、伊賀豚バラ肉、伊賀牛サーロインステーキ、伊賀豚まん、半蔵(純米大吟醸)、地ビールセット、チーズ入り生ハンバーグ どれもこれも美味しそう。筆者は、伊賀牛サーロインステーキが喉から手が出るほど欲しい。そんなことを頭に思い描きながら、事務局の千歳サンに作ってもらった賞品ラベルを皆で貼り、会場センターの皆が見える位置に整然と陳列した。

PM 3:30 すでにホールアウトした数組が配膳された料理に箸をつけ、のどを潤していた。最終組が会場に揃った、PM4:00 ピンクに染まったくノ一、瀧山サン的一声で表彰式及び懇親会が始まった。会場内には小林会長が叩く点鐘の鐘の音が響きわたり、歓迎の挨拶を述べた。また、ご多忙の中、駆け付けていただいた、亀井ガバナーがご挨拶され、我がクラブの田山パストガバナーの乾杯のご発声で会場は和やかな雰囲気包まれた。

演台の忍者装束の色がピンクから黒装束の中村君に司会のマイクが渡された。いよいよお待ちかねの成績発表と賞品贈呈式だ。賞品プレゼンターは赤忍者の木津エレクトだ。B.B賞、飛び賞、ゾロ目賞、会長賞など次々と中村君の口から受賞者が発表され木津プレゼンターから豪華賞品が笑顔満面の受賞者に手渡された。表彰式は佳境に入りベストテンからの順位発表となった。ここからのプレゼンターは真っ黒な忍者装束をまとった小林会長だ。第3位、第2位と受賞者が発表され、栄えある栄冠は、津北RCの伊藤俊哉サンであった。優勝賞品のすき焼き用伊賀肉が手渡され小林会長と固い握手を交わし、壇上にて喜びのスピーチの述べた。毎回、伊藤サンは上位入賞者の常連で ミスター “ミスターはぐるま会” と呼ばせていただいても差し支えないだろう。

壇上を埋め尽くしていたカラフルなラベルを貼った豪華な賞品群がアツという間に受賞者に手渡され滞りなく表彰式は終わった。そして、まさしくくノ一から次期開催クラブが紹介され、壇上に津南RCの林裕行君が、来年の春季大会は5月23日於ノートルエースゴルフ倶楽部と告知されて挨拶を終えた。

今大会の陣頭指揮を執った黒忍者の鈴木実行委員長が閉会の辞を述べ表彰式、懇親会は無事終了した。7クラブの方々は賞品を手笑顔で家路を急いだ。我々は会場出口で頭を下げて皆を見送った後、点鐘の鐘、ポリオ用具などの片付け、搬出をした…… ヤレヤレだ。看板類は大きくて持って帰ることができないので設営班の前田君が真っ暗な中を撤収に来てくれることだろう。

オッと、団体戦の発表が抜け落ちていた。来年5月に開催されるガバナー杯チャリティゴルフ大会への出場権に関わる団体戦のグロス順位は、すったもんだがあり、後日各クラブに☎連絡とすると鈴木実行委員長が機転を利かせ会場の皆にお詫びの言葉を述べていた。帰りがけに集計ミスをしたゴルフ場のコンペ責任者が実行委員長に平身低頭していた。間違いは誰にでもあるもんだ。色々あったが、とにかく終わった、終わった。今後3年間のはぐるま会は気楽に参加できることだろう。ともあれ、実行委員会の皆さん、準備と今日一日、本当にご苦労様でございました。エッ！ みんなの個人成績順位は、って？ …………… それは、また別のお話

秋深し 忍びホストは 何するぞ 球打たずとも “はぐるま”は舞う